

地域の会 質問・意見書

日付： 2023年 2月 4日

氏名： 本間保

新潟県

に対する ○質問 ・ 意見 (いずれか○)

先回の地域に会において、「マリンドリーム能生」は津波の恐れがあるときなどに、避難経由所として不適切ではないかとの質問に対し

「津波警報が出ている際には高台に避難するのでマリンドリーム能生に行くことはない」

との回答を頂きました。

それは、津波警報が出ている間は高台に避難していて、避難を開始することはないという理解でよろしいか？

柏崎市

に対する ○質問 ・ ○意見 (いずれか○)

先回の地域の会で、最終の避難先について、公開はできないとの回答を頂きました。

まことに残念ですが、スムーズな避難のためにも是非公開して頂きたいと考えます。ここまでは意見です。

その回答の中で、「原子力災害時の新潟県広域避難マッチングにおいては、避難所は、原則、市町村が地域防災計画等で指定する避難所としており」との記載がありました。

そこで、糸魚川市の避難所について公開されているものを調べたところ、34か所の避難所が示されており

その合計収容人数は 19,880 人（地域の会の際は 18,000 人と発言しましたが誤り）でした。

柏崎市からの避難予定者数 25,892 人にはかなり不足しています。

- 1) 避難者が収容人数より多くなっているが、実際にはどのように対処するのか？
- 2) 感染症流行下等では、さらに収容人数が減ると思われませんが、そのときの対処はどのようにする予定か？
- 3) また、一人当たりの占有面積は2㎡で計算されていますが、長時間にわたる可能性のある避難生活にはあまりに小さいのではないのか？

この3点について柏崎市のお考えをお聞かせいただきたい。